

ナチュラリストの

フィールド日記

335

中川宗孝(環境生物研究会・城陽環境パートナーシップ会議)

新年度の年中行事再開に向けて

西尾長太郎さん宅に届けられた森口誠さん撮影の写真から全国的にも稀な旅鳥のオオハシシギである中十郎氏撮影)で、追認調査を行ってきた

鳥オオミズナギドリ(写真⑥)は、富野小学校の卒業生たちに進呈するたもなったシュレーゲルアオガエル(写真⑧)も、今年度の調査対象になるのを記念しての試作品です。地元のイベントでは、城陽市の花と鳥を撮り込んだ田部富男さんの作品(写真⑧)に、依然人気が高い山中十郎さんの作品集からのカワセ(写真⑨)にミサゴ(写真⑩)・チョウゲンボウ・ケリにオオタカ・フクロウ・ミズゴイといったはずれも外せない郷土のお宝鳥がメジロ押しです。城陽環境PS会議名を押しつけてその価値ある啓蒙活動の環境資料たる絵ハガキを、たくさんの理解ある支援者の方々にもらってものもらいます。今回、次号に紙面を譲った大ホットニュース！をお楽しみに。

心弾む春の到来も、新型コロナウイルス対策に留意し、趣味とする列車の旅と博物館などのミュージアム巡りも自重し、繁殖期を迎えたケリの継続調査に水辺の生き物と両生・爬虫類たちを求めてのフィールドワークの始まりです。

◎フォトレポート

城陽環境PS会議・自然部会の井手邦彦部長(写真①)左2)に上野さや子副部長(同中)、竹内康先生(同左)に岡井昭憲先生(右2)と筆者の運営委員の揃い踏みです。この日は2月恒例の「古川自然

観察会」がコロナ禍で中止となり、チョウゲンボウの繁殖調査を兼ねての定期調査に、脇坂英也君(写真②)左と岡井勇樹君(同右2)の本来はメイン講師を務める2人を中心に、おなじみのジュニアメンバーにコウノトリ調

査メンバーたち総勢24人もの参加がありました。(写真③)コウノトリは、城陽市鳥類目録に2009番目として追加されましたが、2月11日のこの日、210番目となる珍鳥・オオハシシギ(写真④)岡井勇樹氏撮

影)を古川調査隊のみんなで観察することになりました。そんな幸運も、前日に

西尾長太郎さん宅に届けられた森口誠さん撮影の写真から全国的にも稀な旅鳥のオオハシシギである中十郎氏撮影)で、追認調査を行ってきた

てもうひとつの珍鳥情報が、ジュニアメンバーが発見した京都府初記録となるシラコバト(写真⑤)山

脇坂英也君が山階鳥類研究所への問い合わせや鑑定を経てあらためての公式発表を予定しています。埼玉県の鳥で天然記念物でもあるシラコバトは、江戸時代に人為的に移入されたものですが、野生種の自然渡来は和歌山県の他、島根・大分・鹿児島

の4県の大発見です。オオハシシギの記録と共に、脇坂君の詳細報告をお待ちください。そして京都府の

